

第 13 回

一

関

市

景

観

ま

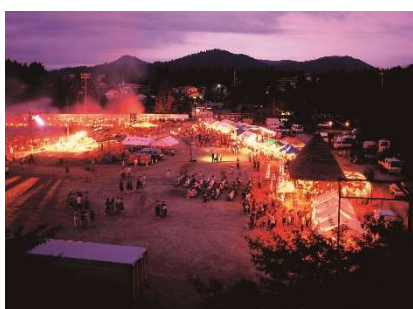
ち

づ

く

り

賞



令和 6 年度
一 関 市

一関市景観まちづくり賞について

一関市景観まちづくり賞は、一関市景観まちづくり条例第 23 条の規定に基づき、地域の魅力ある景観を守り育て、次世代へ継承するため、優れた景観形成に貢献している建造物等及び市民等の景観まちづくりに寄与する活動等を表彰し、それに携わる人々の努力をたたえることで、市民、事業者の景観まちづくりに対する意識の高揚と景観の質の向上を図るとともに、景観まちづくり活動を促進することを目的に行うもので、平成 22 年度からスタートした制度です。

一関市景観まちづくり賞

◆賞の選考・決定

一関市景観審議会では表彰対象を選考し、市長が決定

◆選考基準

- (1) 周囲の街並みや自然環境との調和を図り、地域の優れた景観づくりに寄与しているもの
- (2) 創意工夫、努力により優れた景観を創出しているもの
- (3) 歴史や文化が感じられ、地域に親しまれているもの
- (4) 景観づくりに対して先導的な役割を果たしているもの
- (5) その他景観まちづくりに特に寄与しているもの

◆景観部門

周辺景観と調和し、優れた景観の形成に寄与している建築物、工作物、外構、緑化、屋外広告物その他の物件又はこれらの複合体

※建築物等の完成年度、工法は問わない

◆まちづくり活動部門

継続的に地域の特性を生かした良好な景観の創出や保全などを行い、景観形成に貢献していると認められる活動を主体的に行っている個人又は団体

※概ね 3 年以上継続して活動しているもの

◆募集期間

第 13 回 令和 6 年 4 月 1 日から令和 6 年 6 月 28 日まで

◆応募状況

- ・景観部門 3 物件
- ・まちづくり活動部門 なし

◆景観部門 受賞物件（敬称略）

名 称	株式会社松栄堂 総本店 ～もうひとつの玄関～	水口芝桜園
住 所	一関市地主町	一関市滝沢字水口
用 途	店舗庭園	花壇
事 業 主	株式会社松栄堂 代表取締役社長 小野寺 宏真	阿部 勲
設 計 者	有限会社東磐グリーン	同上
施 工 者	同上	同上
完 成 年	昭和 63 年	令和 6 年

◆まちづくり活動部門 受賞活動（敬称略）

名 称	水口芝桜園	大夫黒モニュメント
活動主体	阿部 勲	千厩・大夫黒・馬っこの会 会長 昆野 洋子
活動場所	一関市滝沢字水口	一関市千厩町千厩字町
活 動 歴	20 年間	5 年間

◆景観部門

○ 株式会社松栄堂 総本店 ～もうひとつの玄関～

大町・地主町地区の土地区画整理事業を契機に整備された菓子店の中庭で、景石と白玉砂利を巧みに使用し、自然の美しさを引き立てています。

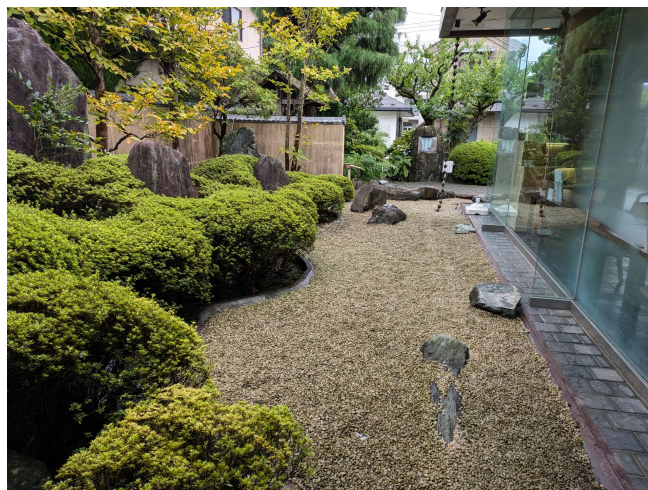
この庭園は、四季折々の自然の魅力を楽しむことができ、糸杉の優雅な姿、夏椿の爽やかな花、キンモクセイの芳香、サツキの可憐な花、藤棚に咲く紫の花房、梅や黒松の落ち着いた佇まいが、四季の移ろいを華やかに彩ります。

また、庭園内には、俳人・中村汀女の碑や磐井の湧き水の井戸、昭和初期に建てられた蔵など、歴史を感じさせる要素が点在し、文化的な背景が、この庭園に特別な意味を加えています。

この庭園は、訪れる人々に癒しと安らぎを提供し、地域の憩いの場として心豊かなひとときをもたらします。

事業主：株式会社松栄堂 代表取締役社長 小野寺 宏眞

設計者：有限会社東磐グリーン（施工者同）



◆景観部門 及び まちづくり活動部門

○ 水口芝桜園

花壇は道路とＪＲ大船渡線沿いに位置し、２０年以上に渡り、約１,５００㎡の敷地に美しい芝桜を植えられています。

最初は１００鉢ほどの芝桜を購入し植え始め、毎年株分けと手入れを重ねて現在の規模に成長しました。

芝桜の見頃は４月下旬から５月上旬頃までで、この時期になると、鮮やかな色彩に包まれます。芝桜の他にも、アナベル、マリーゴールド、サルビア、ノボリフジ、ヒマワリなど多様な花々を植え、季節ごとに異なる景観を楽しむことができます。

毎年、芝桜の見頃に合わせて、幼稚園の子どもたちや地域の方々が見学に訪れており、日々手入れを続け、ほっと安らげる空間となるよう維持されています。

事業主：阿部 勲（設計者及び施工者同）



◆まちづくり活動部門

○ 大夫黒モニュメント

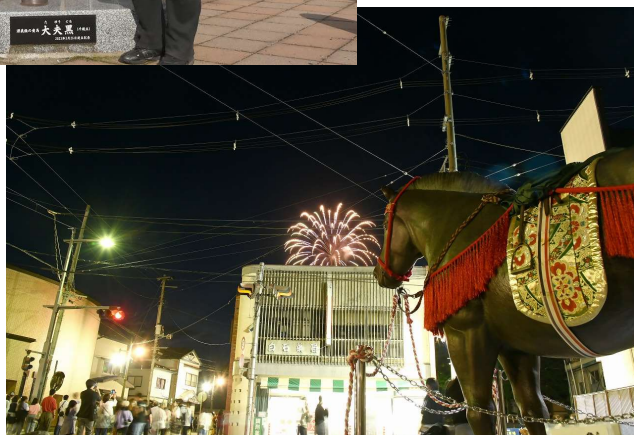
モニュメントは千厩町の歴史的建造物であり、840 年前、平泉の藤原秀衡公が治めていた陸奥国で育成された名馬「大夫黒」の功績を顕彰するもので、地域のシンボルとして人々を勇気づけています。

40 年前に先人の方々が顕彰碑を建立した後は活動が途絶えていましたが、5 年前に再開し、地域の方々や企業と共にモニュメントを建立しました。

モニュメントは千厩町の中心に位置し、赤い装飾や緑と金色に縁取られた鞍を施された馬の像が目を引き、年に2回の衣替えで季節ごとの装いも楽しめます。交差点にも位置し、商店街との調和や公共施設への道案内の役割を果たしています。周囲にはベンチが設置され、市民の憩いの場や待ち合わせ場所としても利用されています。

また、地域のイベントでも中心的な存在となり、町のコミュニティ活動を支え、地域の重要なランドマークとして機能しています。

活動主体：千厩・大夫黒・馬っこの会 会長 昆野 洋子



◆一関市景観審議会、北原啓司会長からのメッセージ

「株式会社松栄堂 総本店 ～もうひとつの玄関～」は、水天宮通りからの、店舗の裏の景観を配慮した、あまり他に例を見ない優れた事例です。正面の地主町側からでは、店の内部に入らない限り、庭園を見ることはできませんが、一方で店舗の裏の敷地側の景観が工夫されており、藍色の垂れ幕や和風の門を設け、そこをくぐると豊かな緑が目に入るようになっています。この演出によって、訪れる人を敷地内に誘うこととなり、正面玄関の反対側にも景観の魅力を持たせている点が素晴らしいと、評価しました。

次に、「水口芝桜園」は、これだけ工夫し努力されている景観を、芝桜が満開の季節にぜひ見てみたいと審査員一同が感じざるを得ませんでした。咲いていない季節であっても、奥に向かって配置された芝桜のこれまでに見たことのないような見事な景観が広がっていることが容易に想像されます。その優れた景観の魅力は満場一致で評価されましたが、一方でまちづくり活動部門としても、その取り組みを改めて称賛すべきだと声上がり、御夫婦が長い間取り組んでいる姿勢に感動し、初の両部門ダブル受賞として評価させていただきました。

「大夫黒モニュメント」は、地域の歴史を大切にし、若い世代にも伝えるためにみんなで活動した成果と言えます。まさに、まちづくり活動部門とはこのような活動を表彰すべきものであると考えます。応募書類に添付された写真を見て、年齢を問わず、様々な人々に「大夫黒」の歴史が理解される工夫がなされていることが十分に理解できます。今後、この敷地まわりの景観整備が丁寧に進められていくことを期待し、地域の歴史を次の世代へ繋げる姿勢に心を打たれ、景観部門ではなく、敢えて、まちづくり活動部門として、表彰させていただきます。

○一関市景観審議会委員名簿

会長	北原 啓司	弘前大学教育学部 特任教授
職務代理	三宅 諭	三重大学大学院工学研究科 教授
委員	菊池 薫	一関市文化財調査委員
委員	阿部 新一	一関商工会議所 参与
委員	佐々木 賢治	(一社)一関市観光協会 会長
委員	村上 恵志	(一社)岩手県建築士会 一関支部長
委員	小野寺 健	一関市協働推進会議 会長
委員	伊藤 周平	千厩支所推薦
委員	橋本 温子	川崎支所推薦
委員	加藤 一典	岩手河川国道事務所 計画課長
委員	阿部 忠	岩手県県土整備部都市計画課 景観まちづくり課長
委員	廣中 勝之	岩手県県南広域振興局土木部一関土木センター建築指導課長
委員	原田 哲	まちづくりスタッフ
委員	高橋 系子	まちづくりスタッフ

一関市 建設部 都市整備課

〒021-8501 一関市竹山町7番2号

TEL 0191-21-8543